

天守閣常設展示について（報告）

1 業務概要

- ・「展示・内装基本設計業務委託」（H29.7.24～H30.2.28 契約相手方：大林組）
- ・「展示・内装実施設計業務委託」（H30.2.1～H30.9.28 契約相手方：大林組）
- ・「天守閣展示改修業務委託」（H30.12.28～R3.3.24）
契約相手方：乃村・丹青特定業務委託共同企業体（代表者：乃村工藝社、構成員：丹青社）

2 保存活用委員会での審議

- ・H29年度 特別史跡熊本城跡保存活用委員会「天守復興部会」（第1回～第5回）にて審議

<主な審議内容>

- ・基本的な考え方、バリアフリー化（エレベーター・多目的トイレほか）、ユニバーサルデザイン
- ・展示の基本コンセプト、基本方針、展示ストーリー、周辺施設との連携・補完など
- ・近代以降の展示を追加、近代（軍施設、明治22年熊本地震）、現代（昭和の天守再建）など
- ・既存の大型模型（天守軸組模型、城郭・城下模型）の活用、触知模型・レプリカ等の新規製作
- ・各階のイメージパース、穴蔵空間の平面表示、木造天守の各階の部屋紹介（CGで再現）、など
- ・総合監修 平井 聖・伊東龍一（個々の解説・イラスト等は、左記2名の推薦により監修者選定）

3 常設展示の内容 ※詳細はスライドにて説明

- ・地階：穴蔵空間（入口：小天守、出口：大天守）
小天守：エントランス、導入映像「熊本城天守閣」、石垣、石階段、井戸など
大天守：情報コーナー、石垣など
- ・1階：加藤時代 名城、熊本城、清正の城づくり、熊本城の誕生、天守のつくり（天守軸組模型）、天守のデザイン（天守破風原寸模型・御上段模型）、シアター映像「難攻不落の城」「不屈の城」、「もっと知りたい！熊本城」（触知模型、体験型コンテンツ）
- ・2階：細川時代 細川家の入城、城の維持管理、広がる城下（城郭・城下模型）、天守の使われ方（武器庫としての天守、熊本城の絵画、CG映像「藩主の登城」）など
- ・3階：近代 熊本城の明治維新、西南戦争と熊本城、明治22年熊本地震、天守の再建（宇土櫓修理、天守再建決定）、シアター映像「昭和35年の天守再建」など
- ・4階：現代 よみがえる熊本城（修理と復元、平成28年熊本地震、天守閣の被害と復旧）復興城主デジタル芳名板、文化財復興支援金芳名録（熊本県）、など
- ・5階 通路
- ・6階 展望エリア AR（拡張現実）の機能を用いて現在の風景に古写真を重ねて眺望を楽しむ

4 その他

- ・天守閣完全復旧記念『熊本城天守閣常設展示図録』（定価：本体1,300円＋税）を刊行
県内の書店等で一般販売予定（4/26～）
- ・1階：企画展示コーナーでは、熊本城調査研究センターによる企画展も開催予定（4/26～）